

# 津波時の連携確認

FMとよみ

震災2年  
防災特番

## 官民で避難策論議

【豊見城】コミュニテ  
ー放送局FMとよみ  
(安慶名雅明社長、83・  
2が)が東日本震災  
から2年の11日、市豊崎  
の社会医療法人友愛会豊  
見城中央病院付属健康管  
理センターの特設会場か

ら、防災・減災特別番組  
「豊見城に津波が来る！  
その地域はどうす  
る」を生放送した。

者ら14人のパネリストが  
出演した。

震度6以上の地震が発  
生し、27分後に最大潮  
上10・8級の地点まで  
津波が到達するとの想定  
で、防災対策の現状を報  
告した。

理センターの特設会場か

ら、防災・減災特別番組  
「豊見城に津波が来る！  
その地域はどうす  
る」を生放送した。

者ら14人のパネリストが  
出演した。

津波が押し寄せた際の  
避難の方策について語り  
合い、近くの高い所への  
避難を強調。日ごろの避  
難訓練の必要性や地域力  
を高め、行政や民間で連  
携していくことを確認し  
合った。

者が出演した。  
事前に取材した市民の  
防災に対する声も放送。  
自治会からは情報の周知  
徹底への不安や、住民一  
人一人が体で覚える避難  
訓練を実施することなど  
が提案された。市からは  
地域力を高めるために自  
治会での自主防災組織の  
設立を促進する補助金制  
度なども紹介された。番  
組を企画した安慶名社長  
は「放送をきっかけに、防  
災に対する地域の連携に  
つなげたい」と話した。



豊見城の防災対策について語り合ったFMとよみの特別番組＝11日、市豊崎の社会医療法人友愛会豊見城中央病院付属健康管理センター

放送には市沿岸部の与  
根自治会、豊崎自治会、豊  
崎小学校、市の防災担当、  
商工観光課、都市計画課、  
市消防、豊見城署、県観光  
スポーツ部観光振興課の  
担当者のほか、民間から  
市内のホテルグランビュ  
ーガーデン沖縄、社会医  
療法人友愛会、沖縄ツィ  
リストOTSレンタカ  
ー、TSSP管理共同企業  
体、FMとよみの各代表

2013年3月15日(金) 琉球新報